



五月二十八日 水曜日

◆事前に探究学習でナイジェリアについて調べて万博へ行きました。コモンズDに行って、民族や公用語はインターネットで調べた通りでした。インターネットでは分からぬ特物やオブジェのようなものを実際に見たことで国の雰囲気などを感じられました。ナイジェリアの方と話せたことも貴重な体験ができたと思います。他にも、それぞれの国でそれぞれの文化や衣装があり、似ているものから全く違うものがあると改めて感じた。

ペルーの衣装（服装）は気候に合わせた工夫がされており、生きていくために考えられているなど感心した。名称は様々だったが、どれも赤と白が多く使われていて、他の国の衣装も派手なものが多いのはなぜなのか知りたくなった。また、イスラエルの『願いを書いた紙を大きな石がしきつめられている壁の石のすきまに挟む』という伝統にすごく興味を持った。日本にはない文化をたくさん見て知り、もつと詳しく知りたいと思う。  
(一年生)

五月二日 金曜日

◆世界には数えきれないほどの言語や人々、食べ物や服があることが分かった。その国々によって特徴が違つたり名物があつたりと、それらを万博で経験てきて、とても貴重な機会になつた。それぞれSDGsを気にしているのだなと感じたところは、「安全な水とトイレ」というところで、水力発電が有名ですという国が画像を貼つて紹介していたところがあつて、「安全な水」の制度などを説明していく勉強になつた。「ジエンダートイレ」というものが大屋根リングの中にあって、考えられているなと思った。  
パビリオンは私たちにわかりやすいように体験型にしたり色々工夫をしてくれていたおかげで、楽しく学べたし伝えようとしてくださつて、心意気が伝わつたから、さらに世界に目を向けようと思つた。  
(3年生)